サイクル理論とは！？

FX の理論は、エリオット波動理論、ダウ理論などありますが、

サイクル理論は皆さんご存知ですか！？

サイクル理論とは、レイモンド A.メリマンに提唱した理論です。

知らない方が多いと思いますので是非この機会に自身のトレードにご活用ください。

「サイクル理論は天井と底の時間帯を把握することができます！」

つまり、FX トレードにおいてかなり優位性があるということです。

天井と底が把握できればトレードが楽にできますよね！？

私はこの理論をマスターして億トレーダーになることができました♪ ♪

相場でいうサイクルとは、”底→天井→底”で１サイクルとします。

サイクルとは、相場で一定の間隔で繰り返し起こる現象です。

◆サイクルの種類

・４Ｈ サイクル（４時間足）

・メジャーサイクル（日足）

・プライマリーサイクル（週足）

・長期サイクル（月足）

・超長期サイクル

などがあります。

◆１サイクルの周期

４Ｈ サイクル ４時間足６０～８０本前後（底→天井→底）

メジャーサイクル 日足３５～４５本前後（底→天井→底）

※ローソク足の本数を数えていきます。

底の時間帯に入れば、底を疑いながら、相場を見ていくようにチャートをみていきます！



日足チャート

上記は日足のローソク足５８本で１サイクルを形成しています。

まず底（安値）を１本目としてローソク足を数えていきます。

サイクルのスタート地点のことを起点といいます！

そして、サイクルの終了地点のことを終点といいます！

これでサイクル理論のイメージはなんとなく分かってきたのではないでしょうか！？

◆ローソク足の数え方（サイクルカウント）

ローソク足の数え方についてです！

その方法は非常に簡単です♪♪

ひとつひとつローソク足を数えるだけです(*^-^*)

簡単にできますので、覚えておいてくださいね♪



日足チャート

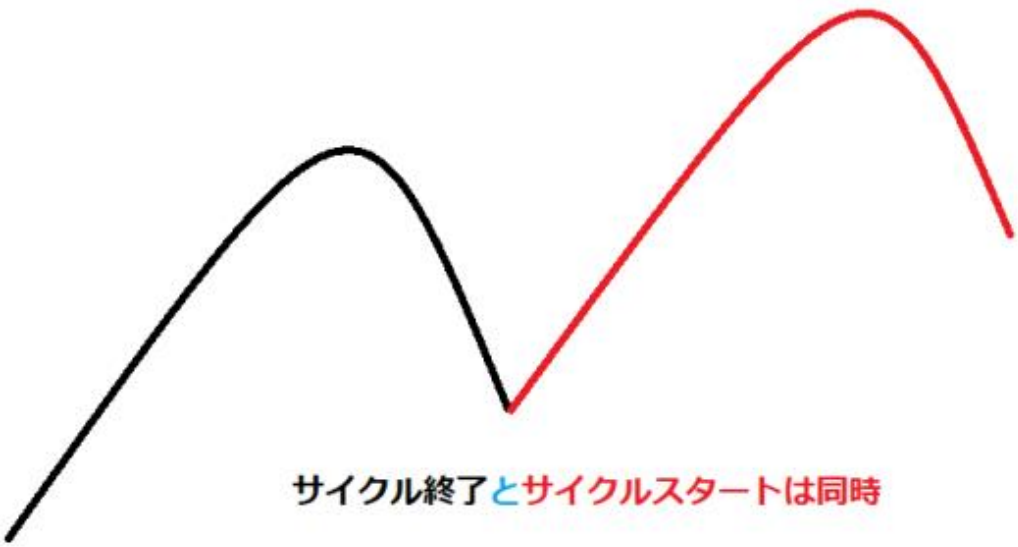
底（起点）のローソク足を１本目として数えていきます。

そしてポイントは、終点と起点は同じローソク足になります！

上記のチャートでみてみると、

45 本目のローソク足と赤色のサイクルの 1 本目のローソク足は同じローソク足になります。

つまりサイクル終了と新しいサイクルスタートは同時ということです！

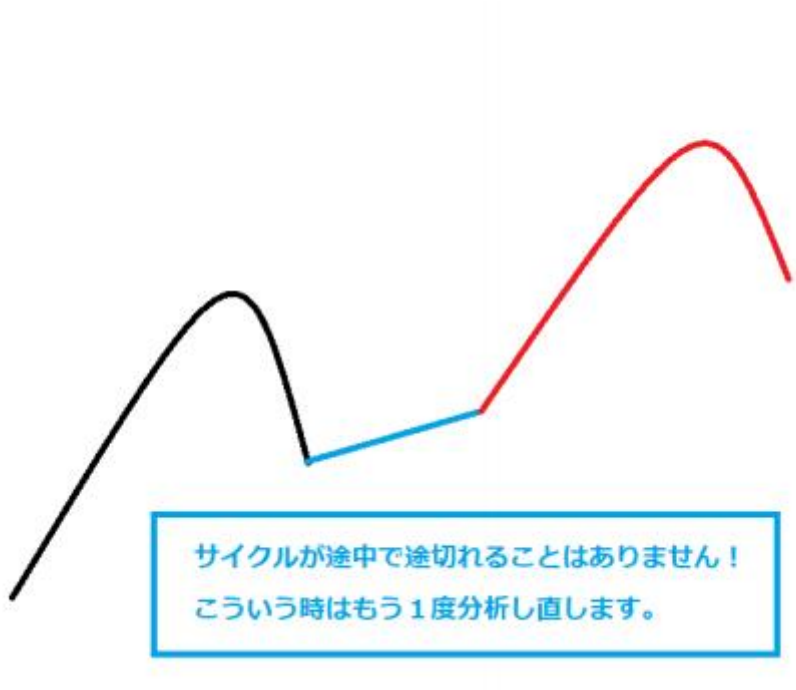


図でいうと、黒のサイクルが終了と同時に赤のサイクルがスタートするということです。

つまりサイクルは常に連続して形成されます。

途中で途切れることはありません。

ここはポイントとして抑えておいて下さいね！



サイクルが途中で途切れることはありません！

こういう時はもう１度分析し直します。

サイクルのルールは、 常に連続して途切れることなくサイクルが発生します！

必ず押さえておいて下さいね♪

◆サイクル理論 周期



日足チャート

メジャーサイクルの周期は、日足でローソク足の本数を数えて３５～４５本前後です。

上記のチャートは５８本で終了しています。

４Ｈ サイクルの場合は、日足でローソク足の本数を数えて６０本～８０本前後です。

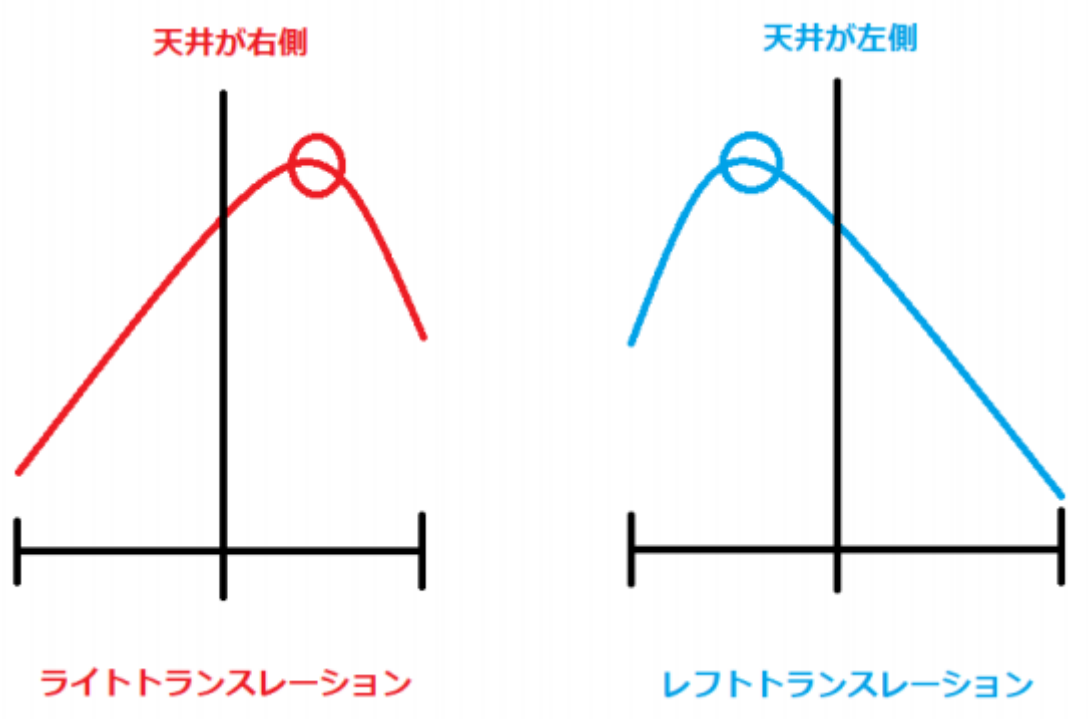
◆フォーメーション編

サイクル理論におけるフォーメーションのことをトランスレーションといいます！

トランスレーションとはサイクルの形状のことです。

サイクルの中心より、右側、左側どちらで天井を付けるのか！？

この部分で、アップトレンドかダウントレンドを判断していきます。



横軸を半分にして、天井が右側に来る形がライトトランスレーションです！

そして、横軸を半分にして天井が左側に来る形がレフトトランスレーションです！

つまりアップトレンドの場合は天井の出現が遅いということです！

ダウントレンドの場合は天井の出現が早いということです！

そして、”ライトトランスレーションは、起点よりも終点が高い位置でボトムを付けることがセオリーです。

レフトトランスレーションは、起点よりも終点の方が低い位置で ボトムを付けることがセオリーです。

このトランスレーションですが、トレードにおいてかなり優位性の

あるものになるので しっかり覚えて下さいね♪

では実際のチャートで解説していきたいと思います♪



４時間足チャート

天井は右側なので、ライトトランスレーションで終点は起点よりも

高く終わっている状況です！

今日の話は少し理解しにくいかもしれないので 理解するまで、何回

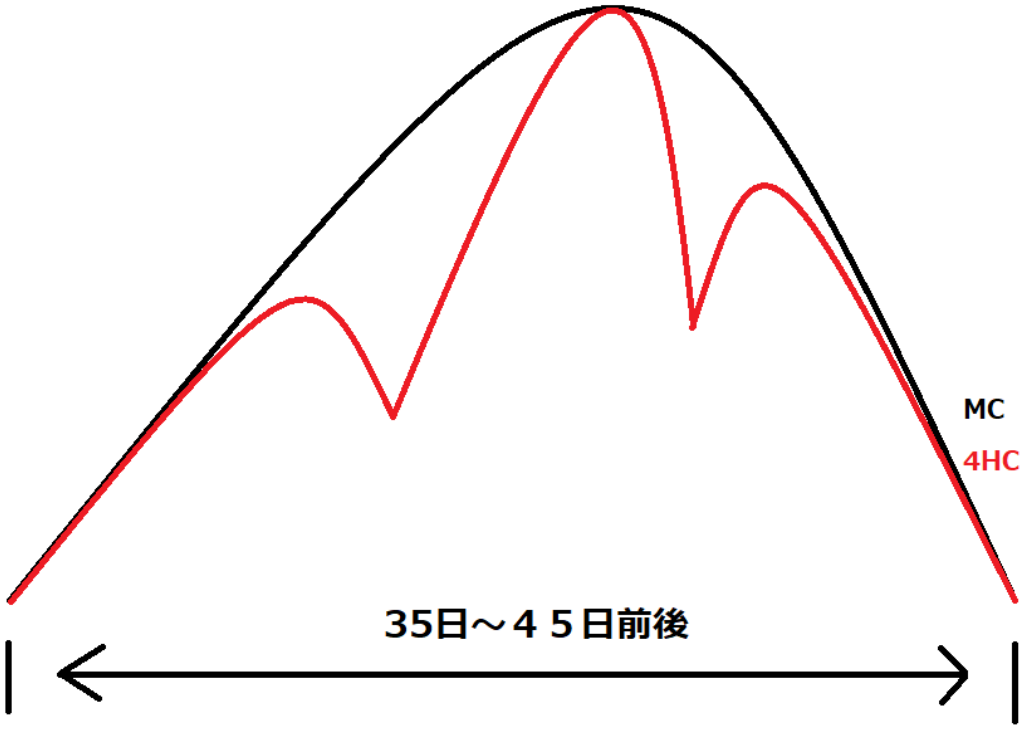
も読むことをオススメします！

（私も当時、この部分は何回も勉強しました♪）

◆サイクル 構成編

今回はサイクルの構成についてお伝えしていきたいと思います。

サイクルの構成を図で表すと下記の形になります！



外側の大きな黒色のサイクルがメジャーサイクル（MC 日足）

内側の小さな赤色のサイクルが４H サイクル（４HC ４時間足）

図は大きなメジャーサイクルの中に小さな４H サイクルが３つ入っている形になります。

「このように大きなサイクルの中に小さなサイクルが３～４つ程度入る形になります。」

上記の部分をしっかり理解して下さいね＾＾

図を見ると大きな波が小さな波を支配しているのが分かりますか！？？

”相場は大きなサイクルの天井を目指して上昇し 大きなサイクルの底を目指して下落していきます！”

そして、

「トレンドは大きな波が小さな波を支配する。しかし、トレンドは小さな波から発生する。」

矛盾して聞こえるかもしれませんが、 例えば月足のトレンドが変わって、１分足のトレンドが変わることはありません。

まずは１分、４時間、日足、週足と短期足のトレンドが変わって大きな月足のトレンドが変わっていきます！

トレンドは短期足から発生する！

ということを頭において置いて下さい♪

しかし、トレンドは大きな波が小さな波を支配します！

今回は大事なことをいくつかお伝えしましたので 何回も読んで理解して下さいね👍

分かりやすく伝えると

例えば、メジャーサイクルトップを付けたら、4 HC はレフトトランスレーションでダウントレンドが発生する確率が高くなります。

上記も理解するまで、読んで下さいね♪

◆サイクル理論 損切りライン

今回は、損切りラインについてお伝えしていきますね♪

・エントリーポイント

・損切りライン

・利益確定ポイント

上記で１番大切なのは、皆さんはどれですか？

多くの方が、間違いなくエントリーポイントを大切にトレードしていると思います。

しかし、私は損切りラインを１番大切にトレードしています！

それはなぜか！？

エントリーポイントが良かったとしても、損切りラインが悪ければ負けトレードになるからです！

逆にエントリーポイントが悪かったとしても、損切りラインが良ければ勝ちトレードになるからです♪

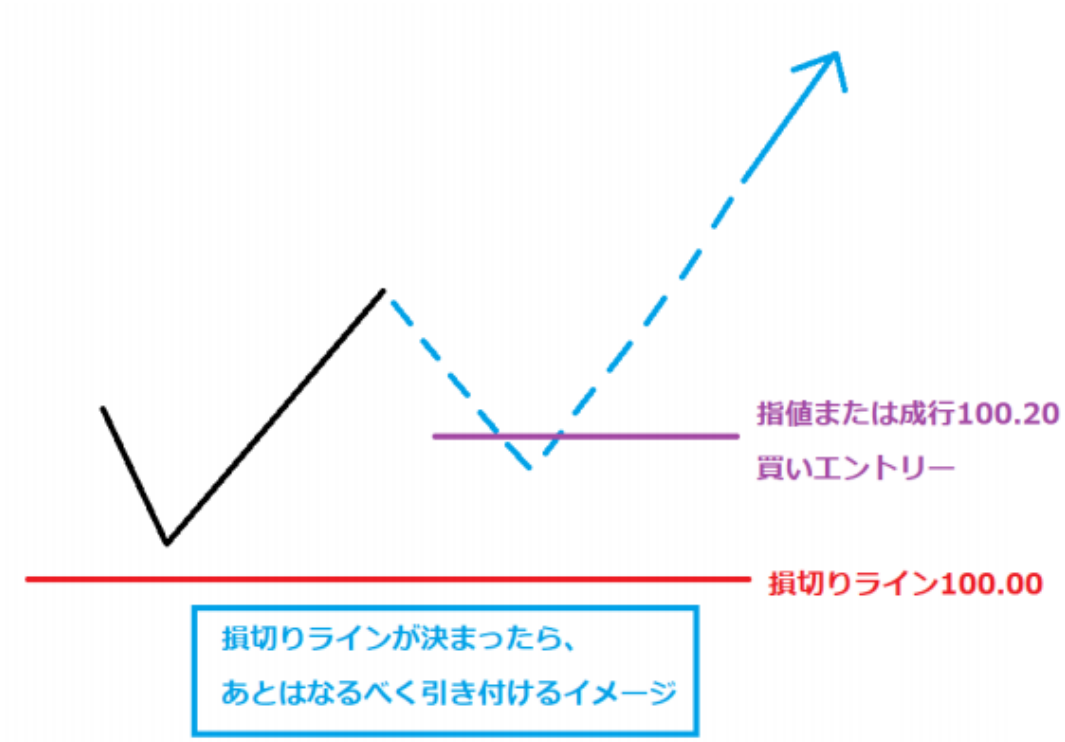
なので皆さんはこれから損切ラインから探すようにして下さい！

多くの方がエントリーポイントをまず探して、次に損切りラインを探しています。

そうではなくて、まず損切りラインから探して下さい！

損切りラインを見つけたら後は簡単です♪

その損切りラインになるべく引き付けてエントリーすることが理想になるのであとはなるべく引き付けてエントリーするだけです！



待てない方は、損切りライン付近に指値注文を入れるのも有りですね♪

実際に私もそのように指値注文を使うことあります♪

このことを大事にしているトレーダーって私は出会ったことないくらい 少ないので是非参考にして下さいね！

勝ち組はいつも少数派です。

大衆と違うことをやりましょうね♪

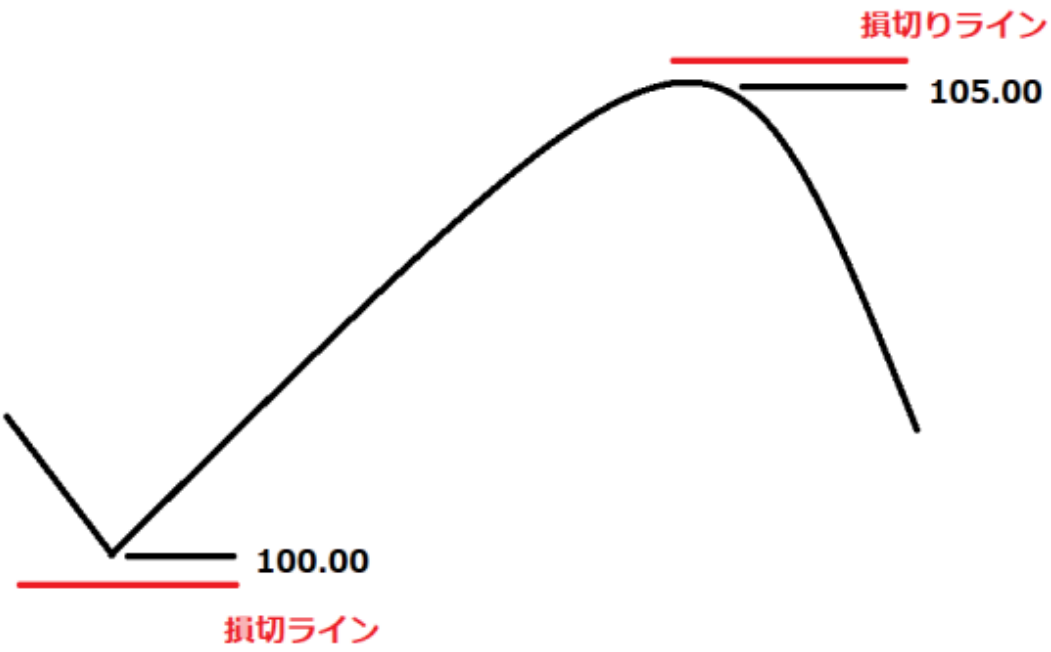
上記のことは本当に大切なことなので 何回も読んで理解して、実践して、できるようになって下さいね！

これできるだけでトレード回数も減りますので、ポジポジ病も治りますよ♪

◆損切ラインの設定とトレード回数の関係

私がどのように損切りラインを設定しているかというと 天井・底と想定できた上下に損切りラインを設定するようにしています。

例えば１０５．００が天井と想定するなら、その上に損切りラインを置いて売りエントリーしますし １００．００が底と想定するなら、その下に損切りラインを置いて買い エントリーを行います。



基本、天井で売りエントリー！ そして底で買いエントリーをベースにトレードしていくので 必然的にトレード回数が少なくなります♪

「えっ！トレード回数少なかったら、あんまり稼げないじゃん！」

って思いましたか！？

そんなことはありません。

１回のトレードで大きく取れるので利益は十分です👍

トレード回数が少ないってめちゃくちゃメリットなことですからね！

まず負けトレーダーの共通点はトレード回数が多いです。

なぜ多くなるのか！？

・どの波を取りに行くのか決まってない（つまりテキトー）

・待てない

・理由のないトレードばかり

・ポジションを持っていないと落ち着かない

etc

つまり、トレードがテキトーだからなんですよね。。。

それはさておき勝ちトレーダーの共通点はトレード回数が少ないです！

勝てるトレードしかしなかったら、必然的に少なくなるんです、、、当たり前のことですが＾＾

負けトレーダーが１番始めにすることは、トレード回数を減らすことです。

トレード回数が減れば減るほど、月間の成績は+-０円に限りなく近づいていきます！

トレード回数０回の場合は、月間の成績が+-０円に必然的になりますからね。

その中で勝てるトレードだけすると、月間単位で勝ちトレーダーになれるんですね♪

勝ちトレーダーになるためのカラクリって案外当たり前のことなんですよ👍

これからはトレード回数を減らすように理由のあるトレードのみやってみて下さい(*^-^*)

健闘を祈ります！

◆サイクル理論 取りに行く波の決め方

取りに行く波を明確に決めていますか！？

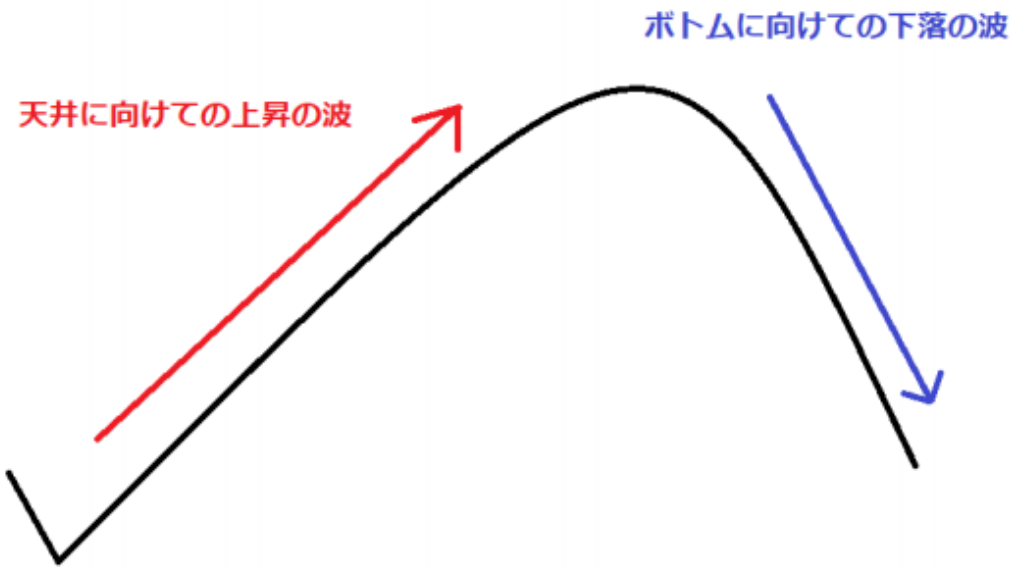
サイクル理論でいうと

相場はサイクルスタートすると、必ず上昇してサイクルトップを付けると必ずサイクルボトムに向けて下落していきます！

つまり波の種類は２種類です！

天井に向けての上昇の波 or ボトムに向けての下落の波

この２つの内からどちらか決めてトレードを行います。



普段どのように決めているかというと

天井に向けて上昇している時に、次のボトムに向けての下落の波を取りに行こうと決めています！

そして、ボトムに向けて下落している時に、次の天井に向けての上昇の波を取りに行こうと決めています！

つまり、事前に決めてしっかり待ってトレードしているということです。

言葉で言うとこんな感じです。

「メジャーサイクルトップに向けての上昇の波の中の、４ＨＣトップに 向けての上昇の波を取りに行く！」

「メジャーサイクルトップに向けての上昇の波の中の、４ＨＣボトムに 向けての下落の波を取りに行く！」

だったり、言葉にするようにしていますよ＾＾

◆取りに行く波を決める理由とは！？

なぜ決める必要があるのか！？

トレードは前々から、準備、想定する必要があるんですね！

準備もしないで、勝ち続けられる訳がありません！

これ当たり前のことですが、結構できてない方が多いんですね！

これをやらないと、考えるプロセスがなくなります。

考えるプロセスがないと、人間成長が止まってしまうんですね！

なので、必ず考えて、トレードの準備をしてくださいね！

明確にどの波を取りに行くか決めることで、

あなたは確実にトレードスキルが上がります！

しっかり考えて、トレードスキルを上げましょう！

明確にどの波を取りに行くかを決めることで、 ポジポジ病が確実に治ります。

明確にどの波を取りに行くかを決めると、 必ず根拠ができます。

根拠のあるトレードだけをやることで あなたのポジポジ病は治ります！

根拠のないトレードをやることがポジポジ病なんですね！

是非、治していきましょうね♪

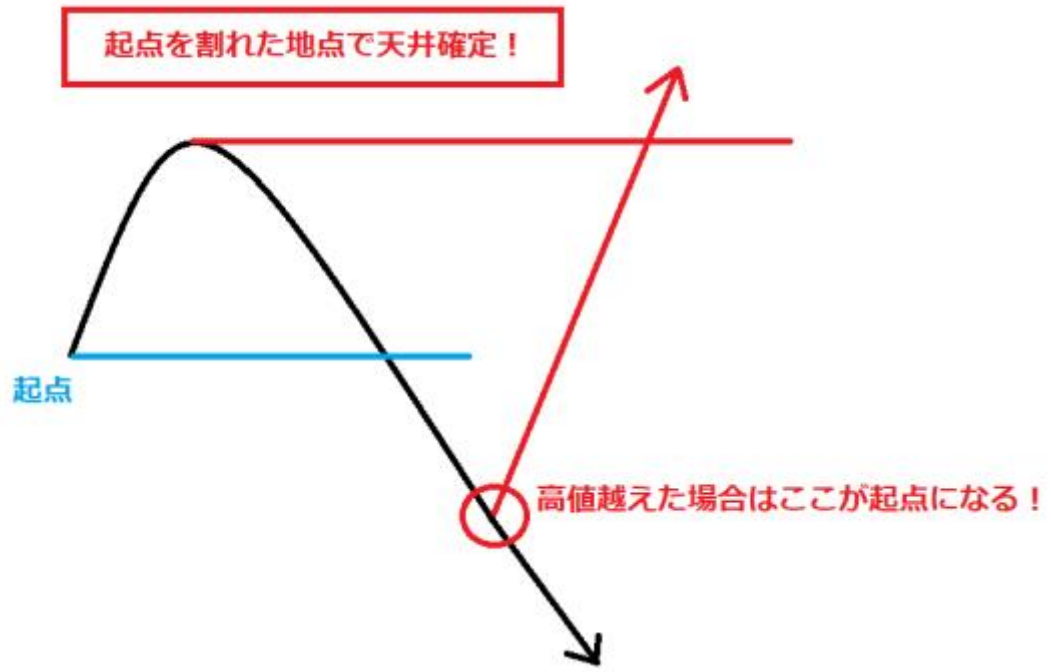
◆サイクル理論　１００％ないサイクルの形と　は！？

サイクルでも、この形は１００％有り得ない形が存在します！

どのような定義かといいますと

「起点を割った後に、そのサイクルの中の高値をそのサイクルの中で超えることはない！」

これも暗記して使えるようになって下さいね♪

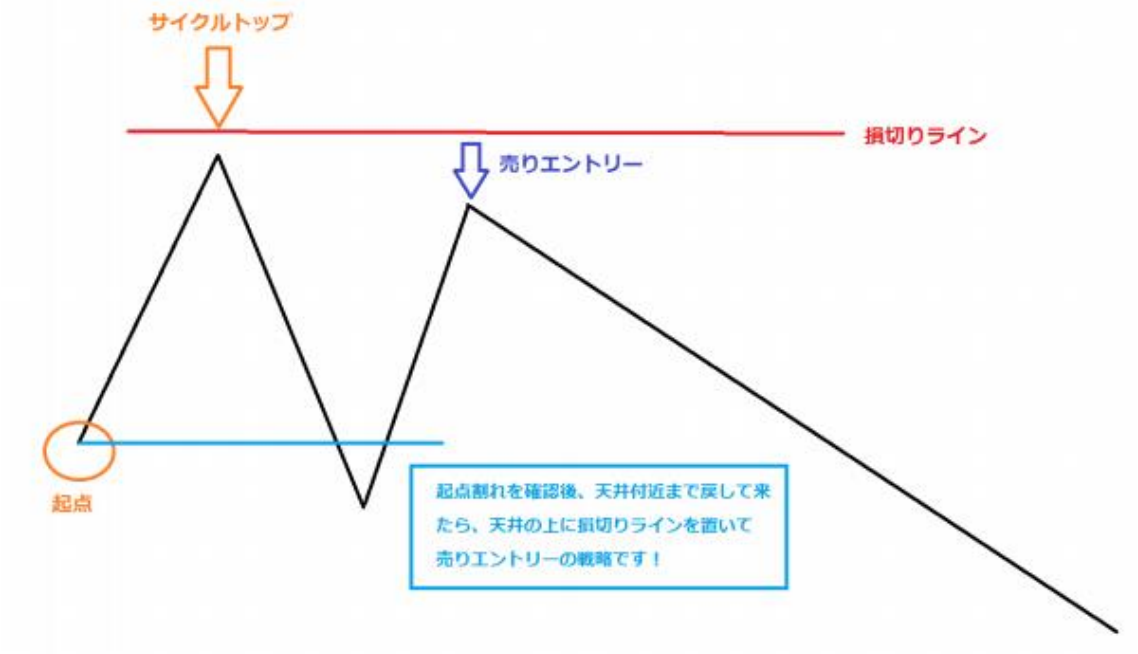


「起点を割る前の高値が天井になります！」

つまりこれを知っていると 起点を割った後に、天井付近まで戻しがあった時に 天井の上に損切りラインを置いての売りエントリーの戦略が有効です！

この相場がきたら、いつもラッキーって思って売りエントリーしてボトムの時間帯まで売りポジションを放置しています👍

図でいうとこういうことです！



このトレードはとてもイージーなトレードになるので

誰でも簡単にできるようになります♪

もし損切りに掛かった場合は起点がの見直しが必要になります。

◆サイクル理論 天井の時間帯

天井の時間帯は！？

天井の時間帯を考える時はまず、当サイクルがライトトランスレーショ ンになるのか！？

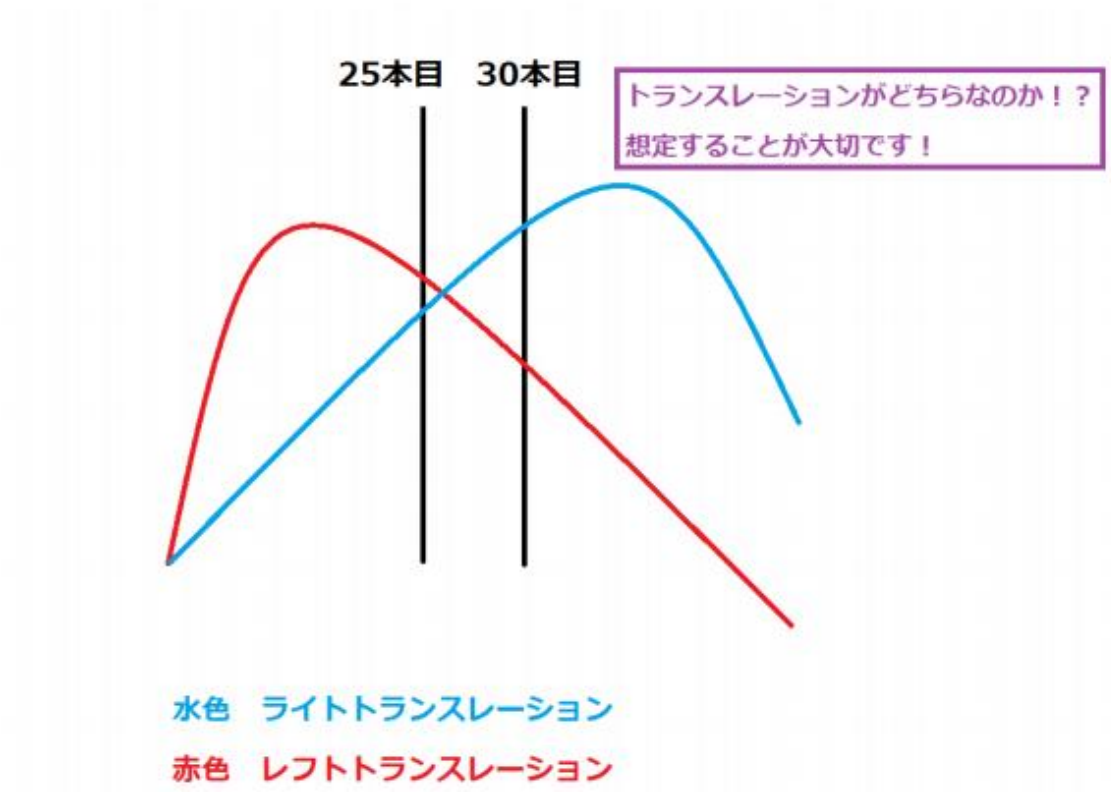
レフトトランスレーションになるのか！？

まずトランスレーションを考えます。

そして、そのサイクルのボトム時間帯から天井の時間帯を考えれば天井 の時間帯は出ますね！

メジャーサイクルは５０～６０本前後なので、

とりあえず２５～３０本をトランスレーションの基準にすることができますね。



とりあえずこの２５～３０本の基準よりも、手前で天井なのか！？

それとも後で天井なのか！？

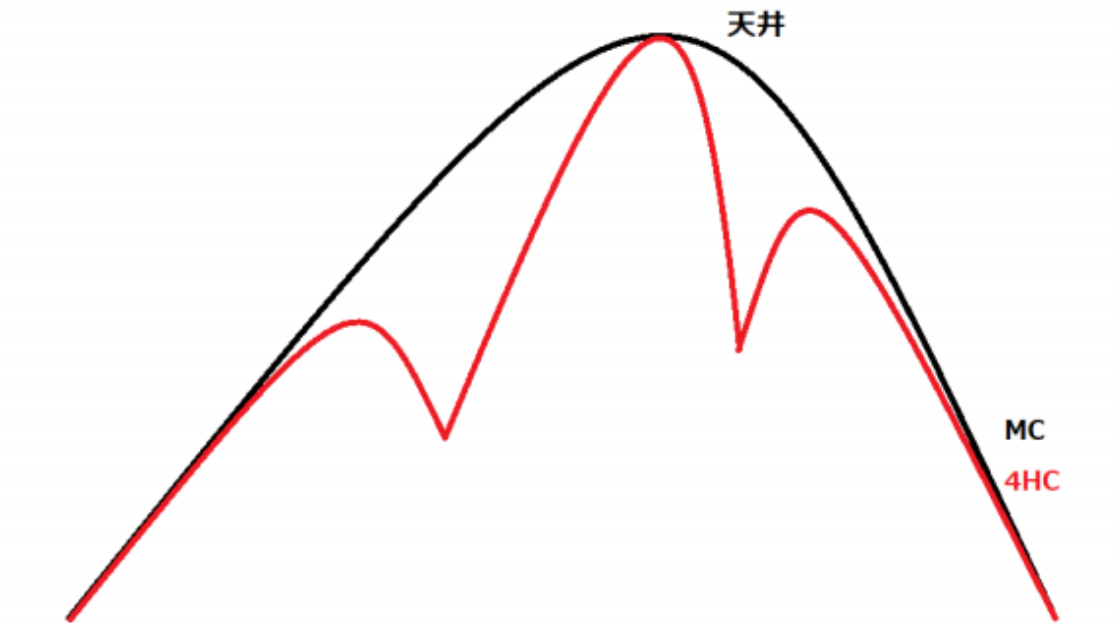
見ていく形ですね＾＾

◆トランスレーションを想定する方法

トランスレーションはどのように想定しているのかお伝えしますね！

サイクルの構成編を覚えてない方は、もう一度復習してみて下さいね♪

大きなサイクルの中に小さなサイクルが３～４つ程度入るので これをイメージして想定していきます！



図は黒のメジャーサイクルの中に赤の４Ｈサイクルが３つ入っている形 になります。

基本はメジャーサイクルトップを付けるまでは、４Ｈサイクルは

ライトトランスレーションを形成し

天井を付けた後はメジャーサイクルボトムに向けて下落して行かなければならないので

４Ｈサイクルはレフトトランスレーションを形成していきます。

基本は上記の考えで見ていきますが、相場なのでセオリー通り動かないこともあります！

私自身も基本的には上記の考え方でトランスレーションを想定するようにしております。
次はレンジブレイク騙しのカラクリについてお伝えします♪

◆レンジブレイク騙しのカラクリとは！？

今回は、レンジブレイクの騙しのカラクリについてです！

レンジブレイクの騙しに引っ掛かった経験ありますよね！？

なぜそのようなことが発生するのか！？

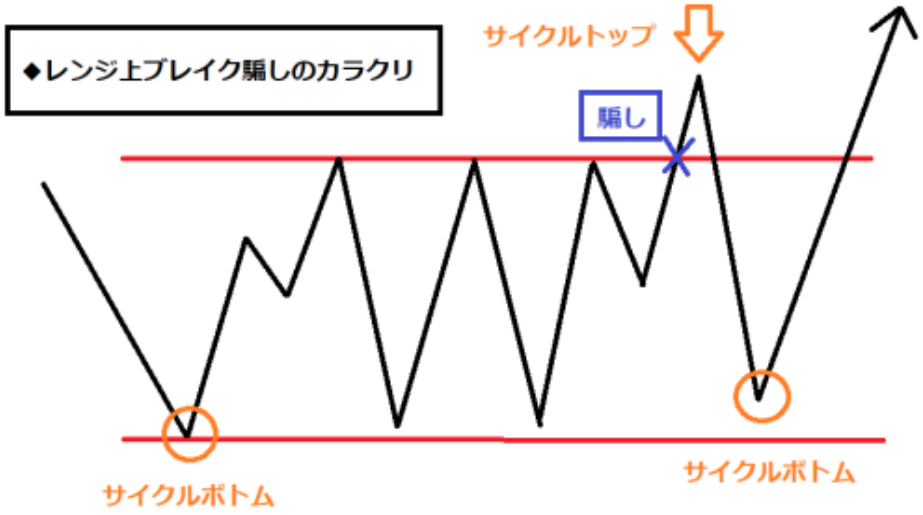
そのカラクリをズバリお伝えします！

そのカラクリとは

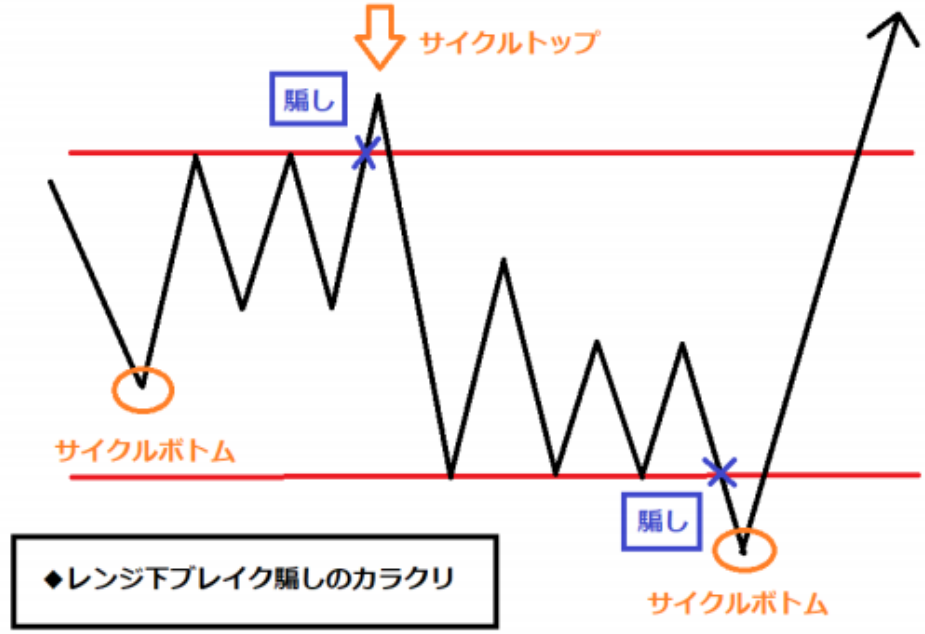
「レンジブレイクしてすぐに、サイクルトップ or サイクルボト ムを付けるからです！」

図で表すとこういうことです。

◆ライトトランスレーション



◆レフトトランスレーション



上記のような相場イメージはよくありますよね！？？

「天井・底の時間帯でのレンジブレイクでその方向にポジションを取ってしまうと

結果、天井買い・底売りをしてしまうことがあるんですね！」

これでレンジブレイク騙しのカラクリは分かりましたか？

これからは引っ掛からないように冷静に相場を見ていきましょうね♪

◆サイクル理論 支配サイクルとは！？

サイクルの平均的な長さの１/６程度の範囲のズレは許容範囲で、この許容範囲のことを”オーブ”と言います。

このオーブの範囲に収まる周期のサイクルが発生する確率が約８０％です。

これより短いサイクルのことを、サイクル短縮と言います。

これより長いサイクルのことを、サイクル延長と言います。

例えば７０本の４H サイクルだとしたら、５９本～８１本の周期になるということですね。

私は４H サイクルは６０～８０本前後で定義しています。

サイクルの短縮や、延長が発生する理由は、

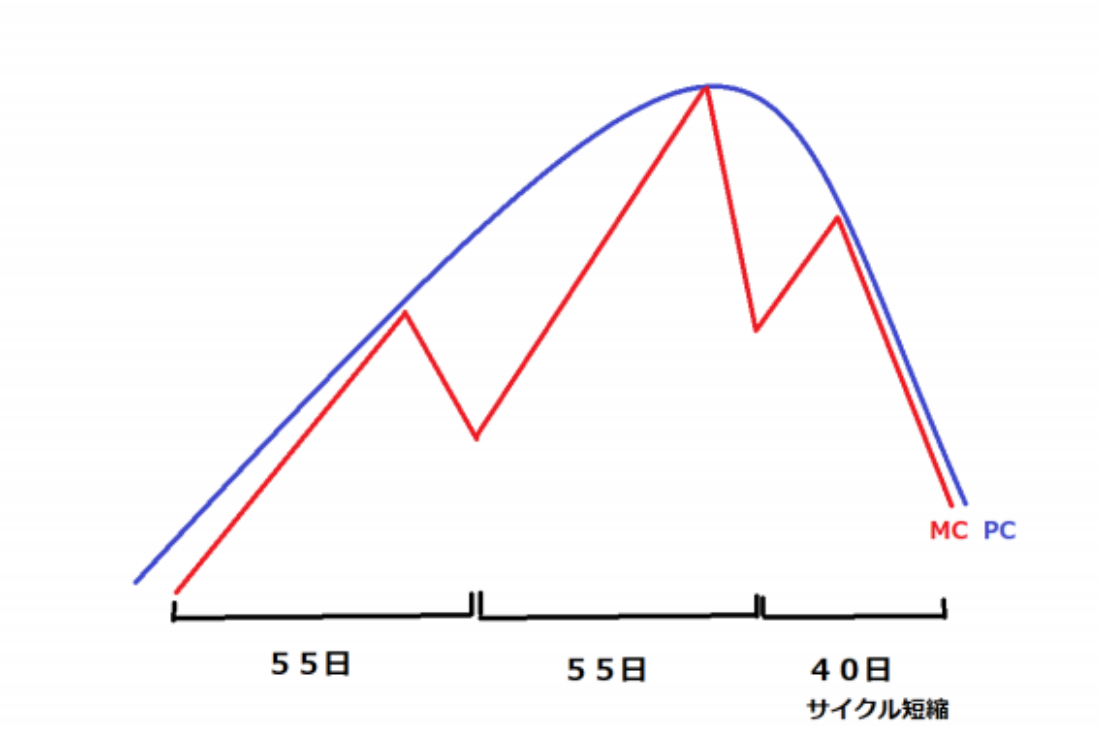
そのサイクルより大きなサイクルが終了する、スタートする時間帯で、 そのサイクルが影響を受けるからです。

この大きなサイクルを支配サイクルといいます。

または、優越サイクルといいます。

メジャーサイクルでも、４H サイクルが短縮、延長することはありますが、

特に、プライマリーサイクル以上のトップ、ボトムの時間帯は影響を受けやすいです。



図はプライマリーサイクルの中にメジャーサイクルが３つ入っている形になります。

プライマリーサイクルボトムを付ける時に、第３ メジャーサイクルボトムを同時に付ける形になりますが

この際にプライマリーサイクルに支配されてメジャーサイクルがセオリー通りの時間帯でボトムを付けにくくなります。

図ではサイクル短縮して４０日目でメジャーサイクルボトムを付けた形になっています。

支配サイクルの逆張りをすると、短縮、延長で惑わされるので、気をつけましょうね！

プライマリーサイクルがスタートして１つ目のメジャーサイクルのこと　を第１メジャーサイクルといいます。

２つ目は第２メジャーサイクルといいます。

覚えておいて下さいね👍

サイクル理論を覚えることでトレードに優位性が出ますので頑張って覚えていきましょうね♪

それでは引き続きよろしくお願い致します。